

患者さんと触れ合うたび、「自分はこの仕事が本当に好きなんだ」と実感します。

患者さんの「あなたがいると安心する」という言葉を聞くと、「人に寄り添う看護師」になってよかったと思います。

## ながしまクリニック

師長兼主任看護師

片口晴美さん

医療専門課程23回生



### 看護師をめざしたきっかけ

小学校4年生の時、母が入院し、お見舞いに行くといつも優しい看護師さんがおられ、働く姿を見ているうちに「こういう仕事に就けたらいいな」と思うようになりました。それからは「看護師になりたい」とずっと考えていて、高校卒業後に医療高等課程に進学しました。

### 在学中の一番の思い出

私が在籍していた頃は修学旅行があり、高等課程では宮崎県、専門課程では北海道に行きました。先生やクラスメイトと楽しく過ごした数日間が、「学生らしい行事」として思い出に残っています。

また、この学校に通うことで大切な友人をもつことができました。私はいつも私を含めた仲良し5人グループで行動しており、勉強や仕事のことなどを話したり、時には励まし合っていました。今でもみんなとは連絡を取り合っていて、一緒に旅行に行くなど付き合いが続いており、それもまたうれしいことです。



笑顔が素敵な片口さん。

### ながしまクリニックで仕事を始めたきっかけ

専門課程卒業後は総合病院で勤務していました。その後、結婚、出産、引っ越しなどがあり退職しましたが、子育てが一段落すると、クリニックでパートとして働くようになりました。

子どもの成長とともに「またフルタイムで働きたい」と考えていた丁度その時、院長先生と私の共通の知人が、「ながしまクリニックで看護師を募集しているよ。先生も優しいから面接を受けてみない？」と紹介してくれました。そういったご縁で早速面接に行くと、翌日から勤務となり、それから16年が経ちました(笑)。

### クリニックならではの身近な看護

クリニックの患者さんは、いつも来られている方や、近隣にお住いの方がほとんどです。そのため患者さんの表情が普段と違っていたりすると、「あれっ？」とすぐに気づきます。

クリニックは最初に異常を発見する場でもありません。院長先生のモットーは、「頭の前からつままで全身を診察する」なので、患者さんの異変を見抜けるよう院内に入って来られた時から「いつもと違う点」を読み取ることを心がけています。

### 患者さんと接する際、大切にしていること

患者さんは看護師の表情が固いと、安心して話をしてくださいません。ですから必ず患者さんの目を見て、柔らかい口調で接するようにしています。そうすると患者さんからは必ず反応が返ってくるので、声かけを行う時は笑顔と優しい雰囲気大切にしています。

患者さんは会話から多くのことを伝えてくれます。そこには看護に繋がる情報も含まれているので、カープの話など身近な話題を取り入れながらコミュニケーションをしっかりと図っています。



「スタッフ全員、仲が良いんです」と話す片口さん。

## これからの目標

当クリニックは地域密着型であり、通常診療、訪問診療に加え、発熱外来も設置しています。

この現体制を維持しながら、今後さらに増加が予想される高齢者の訪問診療に対応できるよう、スタッフ同士がお互いに助け合い、患者さん、地域の皆さんとも連携が取りやすい形を築いていけたらと考えています。

## 現在、勉強中の後輩へのアドバイス

せっかく看護師をめざして勉強しているのだから、多くのことを吸収してほしいですね。実習でも「終わればいい」ではなく、疑問に思ったことは質問に行ってください。それを繰り返すことで、自然にできることが増えていくようになります。質問せずに卒業してしまうと、ずっと分からないままになってしまうこともあります。自ら進んで教えてもらう姿勢を大切にしてください。

## これから看護師をめざす人へのメッセージ

「誰かのためにがんばってみよう」、「人に寄り添いたい」という気持ちが大切な仕事です。確かに業務はハードですが、患者さんの笑顔や退院される姿を見て感じる達成感は大きく、辛さより「やりがい」が勝っていると思います。同じ気持ちをもつ看護師が、これからもっと増えていくことを願っています。

## 院長先生にも聞きました

### 片口さんはどんな方？

当クリニックにとって、なくてはならない存在です。

入職から現在までの16年間、スタッフの中心となり支えてくれたおかげで安定した医療を提供することができ、とても助けられています。



院長 永嶋 潤 先生

## 一緒に働きたいと思える看護師とは？

看護のスキルも必要ではありますが、何よりも看護師のハートをもち、患者さんのことを考え、医師や先輩看護師の指導を素直に受け入れることができる方と働きたいですね。

## 看護学生へのメッセージ

地域に根差し、地域医療を支えるクリニックは、患者さんとの距離が近く、長く関わりをもつことから看護師としての醍醐味があると思います。また、勉強になることも多く、人との交流ができる場でもあります。

病院、クリニックなど看護師としての活躍の場は多くあります。どこで働くにしても患者さんのことを第一に考え、がんばってください。

# ながしまクリニックの紹介

JR五日市駅から徒歩1分の町の中心に位置し、内科・外科・肛門科・消化器内科と幅広い診療をしておられるクリニックです。



長年にわたり地域の方のかかりつけ医として健康を支え、「頭のとっぺんから足のつま先まで」をモットーに、あらゆる世代の患者さんを「まずは診る」という姿勢で、患者さんに寄り添う診療をしておられます。

広島市佐伯区吉見園2-22  
TEL (082) 922-2151

ながしまクリニックのホームページはこちら

<https://www.itsukaichi-nagashima-clinic.jp/>



「これからも地域の方が住み慣れた町で長く暮らせるよう支えていきたい」と話される永嶋院長と片口さん。